

平成30年度 秋田県校友会定時総会

平成30年度秋田県校友会定時総会が、令和元年6月8日（土）「秋田キャッスルホテル」にて開催された。

志村 崇 県校友会専務理事（88回）の開会宣言の後、参加者全員による校歌斉唱、物故者に対する黙祷を捧げた。

小松義典県校友会会長（64回）より挨拶をいただいた後、議長に細谷養幸会員（74回）が選出された。

志村専務理事より庶務報告ならびに昨年度の表彰者の報告がなされた。表彰者は秋田県学校保健功労者表彰の片野泰夫会員（62回）、国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰の尾形裕紀夫会員（68回）、環境・保健事業功労者（秋田県知事表彰）の星野 守 会員（70回）、日本歯科医師会会長表彰の阿部権重会員（51回）、歯科保健事業功労者厚生労働大臣表彰の梅田正己会員（62回）、公衆衛生事業功労者厚生大臣表彰の武蔵貞司会員（51回）の6名であった（受賞日順）。

次に後藤 康 県校友会会計（89回）より平成30年度県校友会の決算報告が行われ、続いて監査報告が行われた。梅田正己県校友会監事が秋田県警察歯科医会のため欠席であったため、志村専務理事より監査報告書が代読された。



白野美和准教授の講演

続いて小坂行雄県校友会副会長（73回）より令和元年5月25日（土）に開催された第132回定時総会の報告がなされた。報告では平成30年度各種決算および令和元年度の各種予算案が賛成多数で承認されたこと、共済と会員功労金の改正案が承認されたこと、役員改選で執行部案の近藤勝洪校友会本部長の続投が承認されたことが報告された。

その後県校友会会長・監事の改選が行われ、小松会長の続投が決定し、監事に小坂副会長、中田舞子県校友会副会長（85回）が選出され定時総会は無事終了となった。

定時総会に引き続き、青柳裕易校友会本部副会長（69回）より日頃の校友会への協力に対して感謝とお礼の言葉があり、そして歯科医師国家試験の現在の状況、生命歯学部および新潟生命歯学部の状況、校友会の活動報告をお話いただいた。

最後に白野美和新潟病院訪問歯科口腔ケア科准教授（86回）より「訪問歯科診療の進め方」をご講演いただいた。講演では高齢化の進む現在、在宅歯科診療のニーズがますます高まり外来中心の診療だけでなく訪問診療にも目を向けなければならないこと。8020運動の達成率が50%を超え要介護高齢者の残存歯数も増加し、歯科的対応が困難な事例が増えていること。誤嚥性肺炎の予防や摂食嚥下、食支援への介入など他方面への対応の要求から、病診、診診、医科歯科の連携が必要なこと。そして訪問診療を始めた際に起こりうる問題点として治療計画の立案、保険請求、さらには認知症患者への対応の仕方まで分かりやすくご講演いただいた。

白野先生のご講演終了後懇親会を行い、楽しい時間を過ごしすべての会が滞りなく終了した。

（武蔵哲貞・87回記）